

第1ブロックの取組

地区の特性

町並みを残しつつ、細街路対策に重点的に取組むエリア

路地や袋路が多く、建替も進んでいない地区です。2方向避難確保や路地の適正管理、建物の耐震化・防火改修を進めましょう。

ブロック全体での必要な取組

◆災害時の対応の共有

いざという時に迅速・的確に行動できるよう、集合場所や連絡体制の再確認をはじめ、要配慮者への対応、具体的な避難方法など地域のルールを共有しましょう。

◆建物の耐震性・防火性向上

地震時の倒壊や延焼を防ぐため、建物の耐震・防火改修に努めましょう。

◆路地の適切な管理

安全に避難できるよう、路地においてあるモノの整理整頓に努めましょう。

◆空き家発生の予防と適切な管理

地域の生活環境を守るため、空き家の発生を予防するとともに、適切な管理に努めましょう。また、老朽化した空き家は除却も検討しましょう。

◆ブロック塀の安全対策

避難経路に危険なブロック塀がないか確認し、必要な対策を検討しましょう。

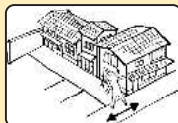
◆建替時の後退による道の拡幅

4m未満の狭い道路は、建替時にしっかりセットバックし、道を広げましょう。また後退部分は道路状に整備しましょう。

◆路地単位の計画づくり・対策

建替等が困難な場合、敷地の統合化や建物の共同化、建築等ができる制度を活用した防災性を高める計画づくりなど、路地単位での検討を進めましょう。

◆特に路地を対象とした取組◆



A 袋路入口部分の安全性確保

袋路入口部の建物を耐震・防火改修し、災害時の避難の安全確保に努めましょう。また、入口部分の拡幅や安全な避難を妨げるものの撤去を進めましょう。



B 袋路の2方向避難確保

路地奥の塀に扉を設けるなど2方向避難を確保するとともに、安全に避難できるよう路地の整理整頓に努めましょう。



C トンネル路地、表札門の安全性確保

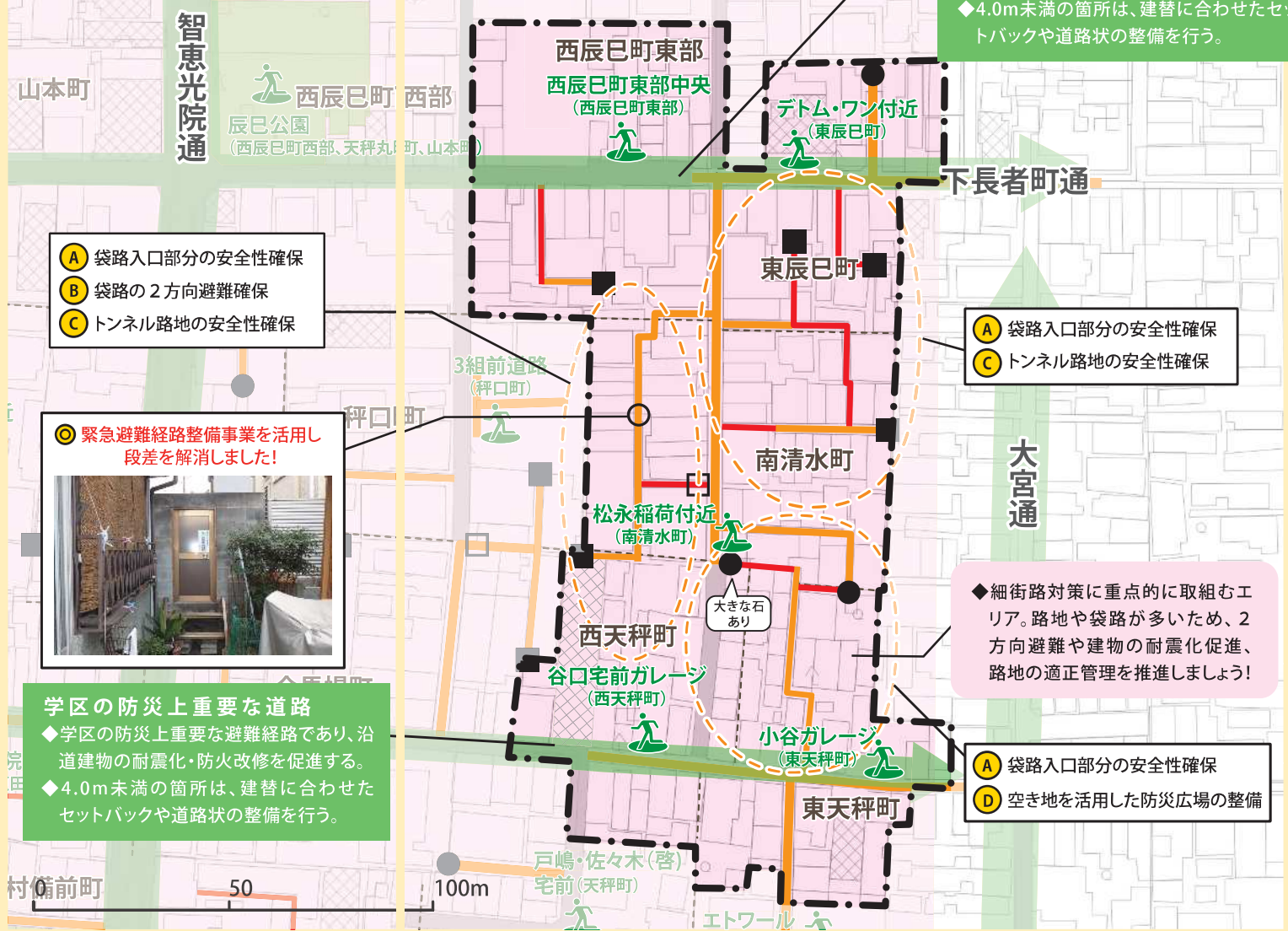
京町家の耐震補強を行い、トンネル路地が塞がれないようにしましょう。災害時に危険性のある表札門にも対策を施しましょう。



D 空き地を活用した防災広場の整備

路地・袋路沿いにある空き地や建物除却後の跡地を使って、身近な防災広場として整備・活用しましょう。

防災まちづくり計画図



学区の防災上重要な道路

- ◆学区の防災上重要な避難経路であり、沿道建物の耐震化・防火改修を促進する。
- ◆4.0m未満の箇所は、建替に合わせたセットバックや道路状の整備を行う。

- A 袋路入口部分の安全性確保
- B 袋路の2方向避難確保
- C トンネル路地の安全性確保

◎緊急避難経路整備事業を活用し段差を解消しました!



学区の防災上重要な道路

- ◆学区の防災上重要な避難経路であり、沿道建物の耐震化・防火改修を促進する。
- ◆4.0m未満の箇所は、建替に合わせたセットバックや道路状の整備を行う。

- A 袋路入口部分の安全性確保
- C トンネル路地の安全性確保

- ◆細街路対策に重点的に取組むエリア。路地や袋路が多いため、2方向避難や建物の耐震化促進、路地の適正管理を推進しましょう!

- A 袋路入口部分の安全性確保
- D 空き地を活用した防災広場の整備

凡例

町並みを残しつつ細街路対策に重点的に取組むエリア	建築物の耐震化に重点的に取組むエリア	幹線道路沿道の耐震・延焼防止に取組むエリア
幅員4.0m以上の道	袋路(突き当たりが塀・欄等)	町内集合場所
幅員1.8m以上4.0m未満の道	袋路(突き当たりが扉)	オープンスペース(公園、社寺、公的施設など)
幅員1.8m未満の道	歴史的景観を感じさせるところ	ブロックの境界
袋路(突き当たりが建物)	トンネル路地	町内の境界

防災道路(避難道路(目指すべき幅員))

— 沿道の耐震化・防火改修を促進 —

- 広域防災道路(11m以上道路)
- 学区の防災上重要な道路(4m以上を目標)

第2ブロックの取組

地区の特性

町並みを残しつつ、細街路対策と耐震化・防火改修に取組むエリア

路地や袋路が残る一方、建替が比較的進んでいる地区です。建物の耐震化・防火改修や、2方向避難確保と路地の適正管理を進めましょう。

ブロック全体での必要な取組

◆災害時の対応の共有

いざという時に迅速・的確に行動できるよう、集会所や連絡体制の再確認をはじめ、要配慮者への対応、具体的な避難方法など地域のルールを共有しましょう。

◆建物の耐震性・防火性向上

地震時の倒壊や延焼を防ぐため、建物の耐震・防火改修に努めましょう。

◆路地の適切な管理

安全に避難できるよう、路地においてあるモノの整理整頓に努めましょう。

◆空き家発生の予防と適切な管理

地域の生活環境を守るため、空き家の発生を予防するとともに、適切な管理に努めましょう。また、老朽化した空き家は除却も検討しましょう。

◆ブロック塀の安全対策

避難経路に危険なブロック塀がないか確認し、必要な対策を検討しましょう。

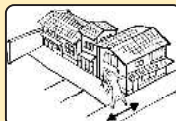
◆建替時の後退による道の拡幅

4m未満の狭い道路は、建替時にしっかりセットバックし、道を広げましょう。また後退部分は道路状に整備しましょう。

◆路地単位の計画づくり・対策

建替等が困難な場合、敷地の統合化や建物の共同化、建築等ができる制度を活用した防災性を高める計画づくりなど、路地単位での検討を進めましょう。

◆特に路地を対象とした取組◆



A 袋路入口部分の安全性確保

袋路入口部の建物を耐震・防火改修し、災害時の避難の安全確保に努めましょう。また、入口部分の拡幅や安全な避難を妨げるものの撤去を進めましょう。



B 袋路の2方向避難確保

路地奥の塀に扉を設けるなど2方向避難を確保するとともに、安全に避難できるよう路地の整理整頓に努めましょう。



C トンネル路地、表札門の安全性確保

京町家の耐震補強を行い、トンネル路地が塞がれないようにしましょう。災害時に危険性のある表札門にも対策を施しましょう。



D 空き地を活用した防災広場の整備

路地・袋路沿いにある空き地や建物除却後の跡地を使って、身近な防災広場として整備・活用しましょう。

学区の防災上重要な道路

- ◆学区の防災上重要な避難経路であり、沿道建物の耐震化・防火改修を促進する。
- ◆4.0m未満の箇所は、建替に合わせたセットバックや道路状の整備を行う。

(北中務町)

冬城北

凡例

町並みを残しつつ細街路対策に重点的に取組むエリア

幅員4.0m以上の道

幅員1.8m以上4.0m未満の道

幅員1.8m未満の道

袋路(突き当たりが建物)

建築物の耐震化に重点的に取組むエリア

袋路(突き当たりが塀・欄等)

袋路(突き当たりが扉)

歴史的景観を感じさせるところ

トンネル路地

幹線道路沿道の耐震・延焼防止に取組むエリア

町内集合場所

オープンスペース(公園、社寺、公的施設など)

ブロックの境界

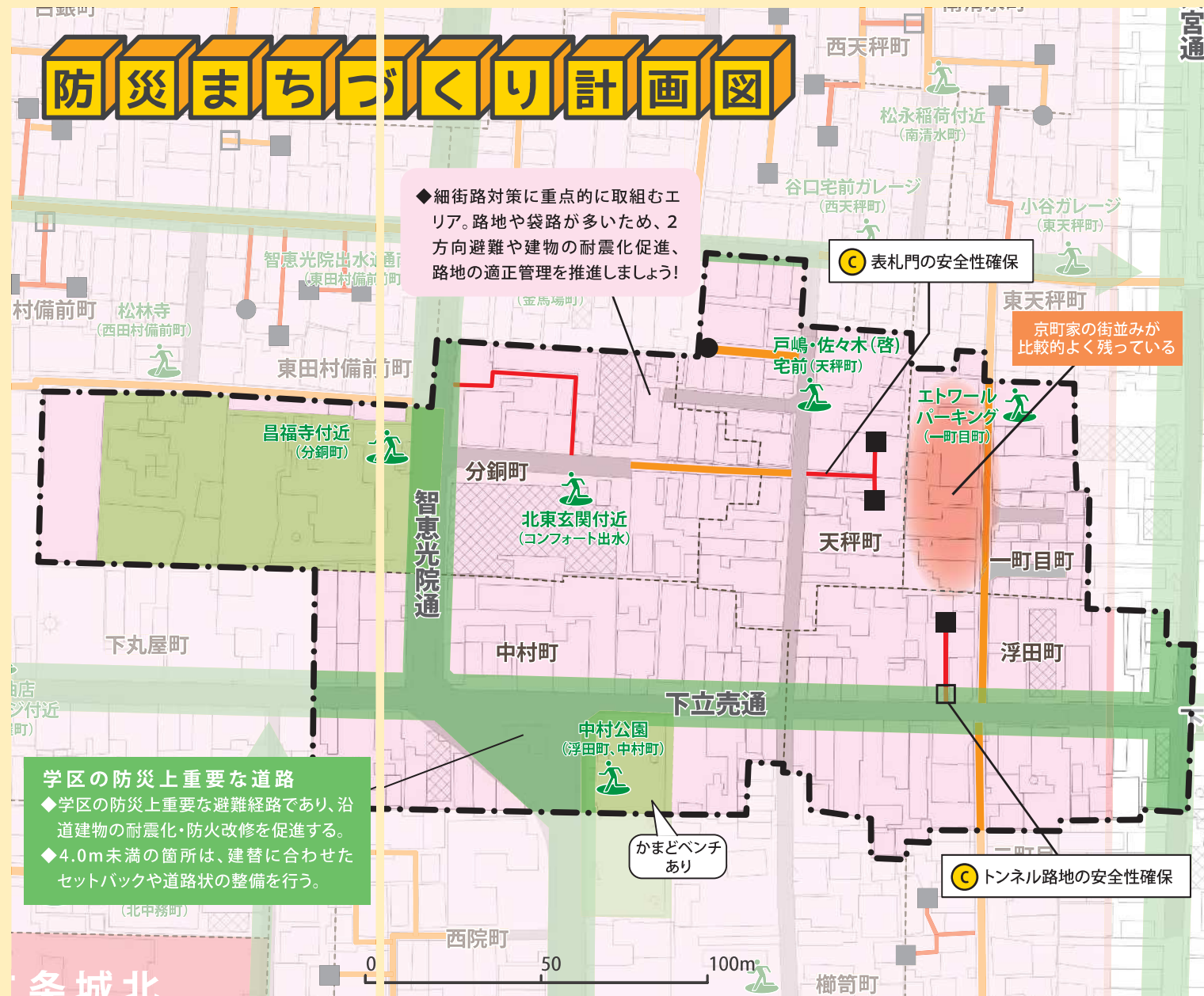
町内の境界

防災道路(避難道路(目指すべき幅員))

— 沿道の耐震化・防火改修を促進 —

広域防災道路(11m以上道路)

学区の防災上重要な道路(4m以上を目標)



第3ブロックの取組

地区の特性

町並みを残しつつ、細街路対策に重点的に取組むエリア

路地や袋路が多く、建替も進まない空き家の多い地区です。2方向避難確保や路地の適正管理、建物の耐震化・防火改修を進めましょう。

ブロック全体での必要な取組

- ◆災害時の対応の共有
いざという時に迅速・的確に行動できるよう、集会所や連絡体制の再確認をはじめ、要配慮者への対応、具体的な避難方法など地域のルールを共有しましょう。
- ◆建物の耐震性・防火性向上
地震時の倒壊や延焼を防ぐため、建物の耐震・防火改修に努めましょう。
- ◆路地の適切な管理
安全に避難できるよう、路地においてあるモノの整理整頓に努めましょう。
- ◆空き家発生の予防と適切な管理
地域の生活環境を守るため、空き家の発生を予防するとともに、適切な管理に努めましょう。また、老朽化した空き家は除却も検討しましょう。
- ◆ブロック塀の安全対策
避難経路に危険なブロック塀がないか確認し、必要な対策を検討しましょう。
- ◆建替時の後退による道の拡幅
4m未満の狭い道路は、建替時にしっかりセットバックし、道を広げましょう。また後退部分は道路状に整備しましょう。
- ◆路地単位の計画づくり・対策
建替等が困難な場合、敷地の統合化や建物の共同化、建築等ができる制度を活用した防災性を高める計画づくりなど、路地単位での検討を進めましょう。

◆特に路地を対象とした取組◆



A 袋路入口部分の安全性確保

袋路入口部の建物を耐震・防火改修し、災害時の避難の安全確保に努めましょう。また、入口部分の拡幅や安全な避難を妨げるものの撤去を進めましょう。



B 袋路の2方向避難確保

路地奥の塀に扉を設けるなど2方向避難を確保するとともに、安全に避難できるよう路地の整理整頓に努めましょう。



C トンネル路地、表札門の安全性確保

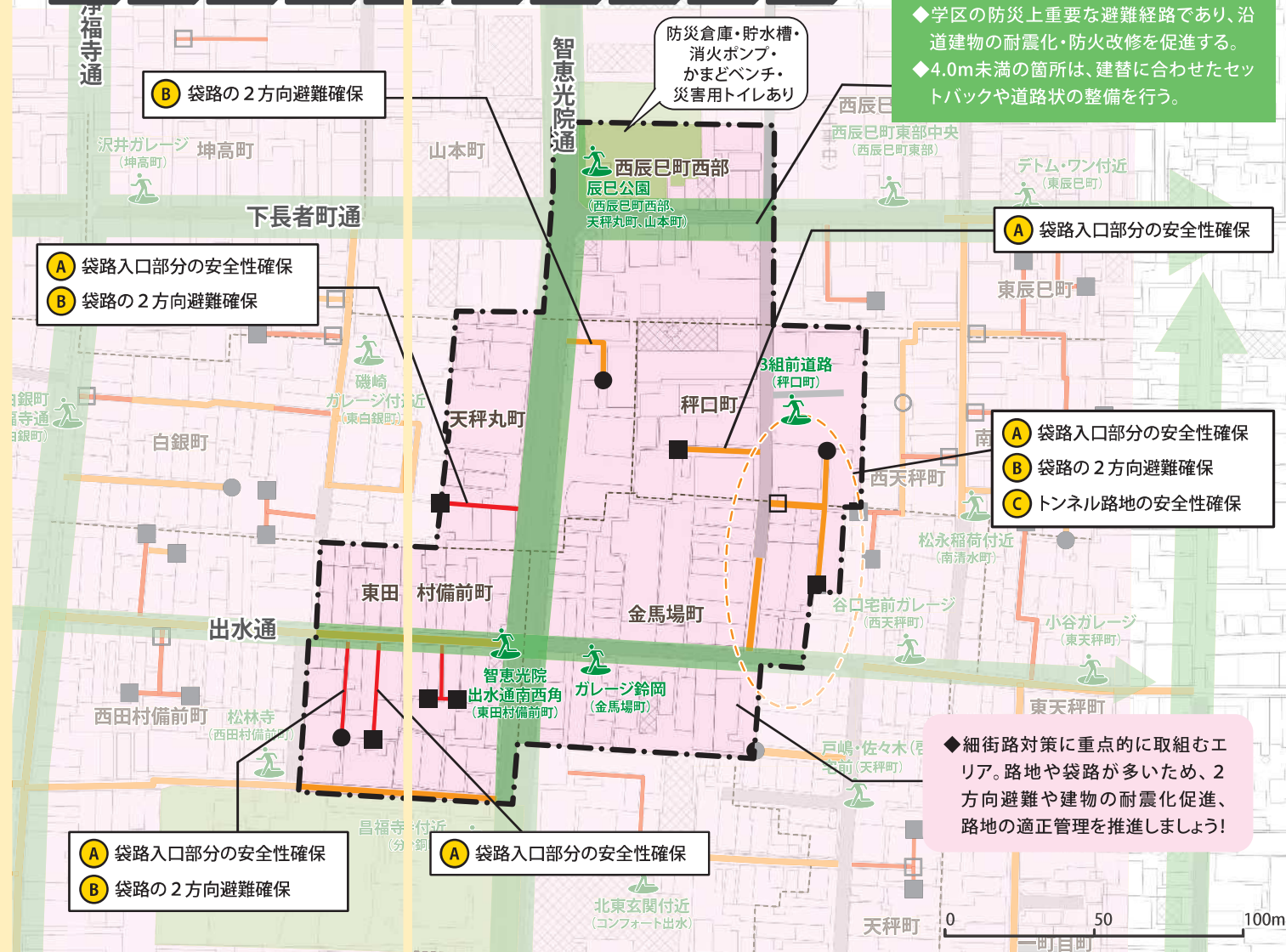
京町家の耐震補強を行い、トンネル路地が塞がれないようにしましょう。災害時に危険性のある表札門にも対策を施しましょう。



D 空き地を活用した防災広場の整備

路地・袋路沿いにある空き地や建物除却後の跡地を使って、身近な防災広場として整備・活用しましょう。

防災まちづくり計画図



学区の防災上重要な道路

- ◆学区の防災上重要な避難経路であり、沿道建物の耐震化・防火改修を促進する。
- ◆4.0m未満の箇所は、建替に合わせたセットバックや道路状の整備を行う。

◆細街路対策に重点的に取組むエリア。路地や袋路が多いため、2方向避難や建物の耐震化促進、路地の適正管理を推進しましょう！

凡例	町並みを残しつつ細街路対策に重点的に取組むエリア	建物の耐震化に重点的に取組むエリア	幹線道路沿道の耐震・延焼防止に取組むエリア	防災道路（避難道路（目指すべき幅員）） — 沿道の耐震化・防火改修を促進 —
	- 幅員4.0m以上の道 - 幅員1.8m以上4.0m未満の道 - 幅員1.8m未満の道 - 袋路（突き当りが建物）	- 袋路（突き当りが塀・欄等） - 袋路（突き当りが扉） - 歴史的景観を感じさせるところ - トンネル路地	- 町内集合場所 - オープンスペース（公園、社寺、公的施設など） - ブロックの境界 - 町内の境界	

防災道路（避難道路（目指すべき幅員）） — 沿道の耐震化・防火改修を促進 —
- 広域防災道路（11m以上道路） - 学区の防災上重要な道路（4m以上を目標）

第4ブロックの取組

地区の特性

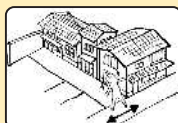
町並みを残しつつ、細街路対策に重点的に取り組むエリア

路地や袋路が非常に多く、建替も進んでいない地区です。2方向避難確保や路地の適正管理、建物の耐震化・防火改修を進めましょう。

ブロック全体での必要な取組

- ◆災害時の対応の共有
いざという時に迅速・的確に行動できるよう、集会所や連絡体制の再確認をはじめ、要配慮者への対応、具体的な避難方法など地域のルールを共有しましょう。
- ◆建物の耐震性・防火性向上
地震時の倒壊や延焼を防ぐため、建物の耐震・防火改修に努めましょう。
- ◆路地の適切な管理
安全に避難できるよう、路地においてあるモノの整理整頓に努めましょう。
- ◆空き家発生の予防と適切な管理
地域の生活環境を守るため、空き家の発生を予防するとともに、適切な管理に努めましょう。また、老朽化した空き家は除却も検討しましょう。
- ◆ブロック塀の安全対策
避難経路に危険なブロック塀がないか確認し、必要な対策を検討しましょう。
- ◆建替時の後退による道の拡幅
4m未満の狭い道路は、建替時にしっかりセットバックし、道を広げましょう。また後退部分は道路状に整備しましょう。
- ◆路地単位の計画づくり・対策
建替等が困難な場合、敷地の統合化や建物の共同化、建築等ができる制度を活用した防災性を高める計画づくりなど、路地単位での検討を進めましょう。

◆特に路地を対象とした取組◆



- A 袋路入口部分の安全性確保**
袋路入口部の建物を耐震・防火改修し、災害時の避難の安全性確保に努めましょう。また、入口部分の拡幅や安全な避難を妨げるものの撤去を進めましょう。



- B 袋路の2方向避難確保**
路地奥の塀に扉を設けるなど2方向避難を確保するとともに、安全に避難できるよう路地の整理整頓に努めましょう。

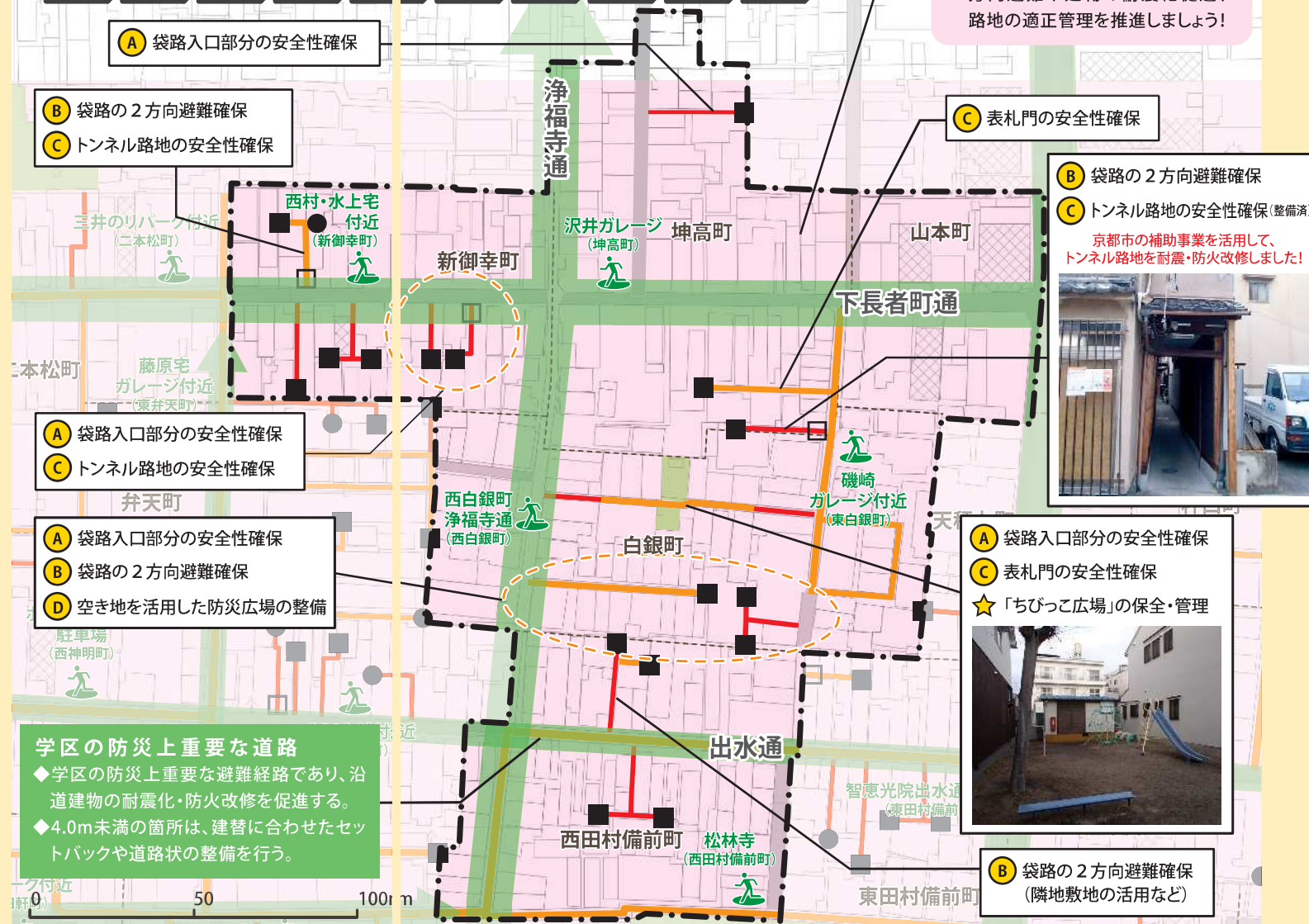


- C トンネル路地、表札門の安全性確保**
京町家の耐震補強を行い、トンネル路地が塞がれないようにしましょう。災害時に危険性のある表札門にも対策を施しましょう。



- D 空き地を活用した防災広場の整備**
路地・袋路沿いにある空き地や建物除却後の跡地を使って、身近な防災広場として整備・活用しましょう。

防災まちづくり計画図



◆細街路対策に重点的に取り組むエリア。路地や袋路が多いため、2方向避難や建物の耐震化促進、路地の適正管理を推進しましょう！

- B 袋路の2方向避難確保**
C トンネル路地の安全性確保 (整備済)
京都市の補助事業を活用して、トンネル路地を耐震・防火改修しました！



- A 袋路入口部分の安全性確保**
C 表札門の安全性確保
★「ちびっこ広場」の保全・管理



- B 袋路の2方向避難確保 (隣地敷地の活用など)**

凡例	町並みを残しつつ細街路対策に重点的に取り組むエリア	建築物の耐震化に重点的に取り組むエリア	幹線道路沿道の耐震・延焼防止に取組むエリア	防災道路 (避難道路 (目指すべき幅員)) — 沿道の耐震化・防火改修を促進 —
	幅員4.0m以上の道	袋路 (突き当たりが塀・欄等)	町内集合場所	広域防災道路 (11m以上道路)
	幅員1.8m以上4.0m未満の道	袋路 (突き当たりが扉)	オープンスペース (公園、社寺、公的施設など)	学区の防災上重要な道路 (4m以上を目標)
	幅員1.8m未満の道	歴史的景観を感じさせるところ	ブロックの境界	
	袋路 (突き当たりが建物)	トンネル路地	町内の境界	